

6月 1日～15日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
08/06/02 (月)	東京は英タイムズの報道からポンドが急落。円は対ポンドでこそ強含みとなるも、そのほかでは冴えず。欧米は発表された米経済指標が予想を上回ったことがドルの買い材料。しかしS&Pの報道で流れ一変。	・英タイムズ「英住宅ローン大手のCEOが辞任」が経営不安呼ぶ ・5月の米ISM製造業景況指数49.6、4月の建設支出 0.4% ・S&Pがメリリッチとモルガンスタンレーを格下げ	・米財務長官「ドルが世界の準備通貨である理由がある」 ・ECB総裁「非常に重要な市場の調整に直面している」 ・アトランタ連銀総裁「現在の連銀の金融政策は適切」	105.43 105.52 104.02 104.43	164.05 164.10 162.08 162.26	寄付 安値 高値 終値
08/06/03 (火)	東京は前日に続き新聞報道が波乱要因WSJ紙報道を受けてドル売り優勢。一時103円台も。欧米はドル売りムードでスタート。しかし予想外ともいえるFRB議長発言を受けてドル急反発へ。	・豪州が金利据え置き ・WSJ紙「リーマンが第2四半期20億ドルを超える損失計上」、その後流動性懸念やFEDから資金借り入れの ・4月の米製造業受注1.1%	・FRB議長「ドルの下落がインフレに好ましくない影響を与えている」 ・クウェート石油相「必要とあればOPEC加盟国は供給拡大の用意」 ・G7ロス「原油相場はバブル」	104.37 105.57 103.87 105.09	162.18 163.23 161.82 162.31	寄付 安値 高値 終値
08/06/04 (水)	東京は前日の流れからドル買いムード。株高がそれを支援したがドルやフィッチの発表もありドル高も限定的。欧米はムーティーズの報道からドル売り先行。しかし連日のFRB議長発言を受けて再びドル高へ。	・メリリッチがバンクスの株価を引き下げ見通しと発表、フィッチが欧州系銀行に資本増強の必要性示唆 ・5月の米ISM非製造業景況指数51.7、同ADP全米雇用報告4万人、第1Q非農業部門労働生産性2.6%	・G7ロス「FRBは利下げできる限界まで達した可能性がある」 ・ムーティーズ「MBIAとアムハックの格付けを引き下げ方向で見直し」 ・FRB議長「物価安定が連銀の最優先課題」	104.97 105.40 104.53 105.22	162.19 162.60 161.74 162.47	寄付 安値 高値 終値
08/06/05 (木)	東京はとくに材料がないなかドルは続伸。105円半ばの損切りを巻き込むと106円近くまで急騰。欧米はドル続伸し106円台へ。しかしS&Pの決定を嫌気した動きからドルは終盤やや緩む。ユーロ独歩高。	・NZが政策金利を据え置き ・BOEとECBが金利据え置き ・S&PがMBIAとアムハックの財務力格付けをネガティブウォッチに指定	・NZ中銀総裁「景気後退に陥る可能性がある」 ・ECB総裁「来月の利上げの可能性を排除しない」 ・独連銀総裁「ECBは事前約束をしないがセンチメントは明らか」	105.30 106.44 105.26 105.94	162.54 164.27 162.25 165.17	寄付 安値 高値 終値
08/06/06 (金)	東京は中曾発言で円売り先行。その後ドルは底堅く推移したが終盤のSEC調査でドル買いに警戒感。欧米は予想外に悪化した米失業率が嫌気されたうえ、イスラエル首相発言からドルは1円を越える急落へ。	・SECがサブプライム関連の取引に付いてAIGを調査との一部報道あり ・5月の米失業率5.5%、同非農業者雇用数 4.9万人	・中曾日銀金融市場局長「外銀が円を調達、自国通貨に換えている」 ・イスラエル首相「もしイランが核兵器製造を続けるなら攻撃避けられない」 ・独連銀総裁「ECBは市場に明確なメッセージを送った」	105.89 106.35 104.91 104.92	165.16 166.17 165.03 165.55	寄付 安値 高値 終値
08/06/09 (月)	オープン前のオペアニアはドル安。一時104.40円レベルも。しかし東京は逆にドル反騰高。1円以上の急伸も。欧米は良好な米経済指標に加え、財務長官の強気発言からドル買い優勢。106円台まで大幅続伸。	・FT紙「リーマンは50億ドルを超える新たな資本調達を個人投資家からすることで合意」、その後第2四半期28億ドルの損失などを公表 ・4月の景気先行指数92.8 ・4月の米住宅販売成約指数6.3%	・米財務長官「為替介入の選択肢は決して排除せず」 ・NY連銀総裁「連銀はドルを非常に注視している」 ・ダラス連銀総裁「介入の選択肢を排除しない」	104.83 106.37 104.77 106.32	165.42 167.15 165.38 166.35	寄付 安値 高値 終値
08/06/10 (火)	東京は米大統領らの発言が伝えられドル続伸。ただ107円手前ではOP防戦売りなどに上値阻まれる。欧米に掛けても米要人からドル安率制発言続き、ドル買いに安心感。損切り巻き込みついに107円台へ。	・4月の機械受注5.5% ・4月の米貿易収支 609億ドル、対日 75.6億ドル、対中 202.4億ドル ・CNBC「サウジアラビアが22日にOPECおよび消費者会合開催、原油増産の見込み」	・FRB議長「インフレとインフレ期待の上振れリスクを高めた」 ・米大統領「ドルが強くなること望んでいる」 ・米財務長官「G8で米ファンダメンタルズがドルに反映すると表明」	106.33 107.45 106.26 107.43	166.37 166.68 165.53 166.16	寄付 安値 高値 終値
08/06/11 (水)	東京は小動きながら6月末決算をにらんだ米系投機筋のリバティなどからドル買い優勢。欧米は各種発言を受けて荒れ模様。乱高下の末、最後はマカリ-発言からドル小安。	・第1四半期GDP改定値1.0%、4月経常黒字1兆3809億円、5月国内企業物価指数1.1% ・米地区連銀報告「4月末から5月の経済活動は全体に弱い」	・シュタルクECB理事「複数回の利上げについては話し合っていない」 ・キプロス中銀総裁「ECBはもし価格期待が抑制しなければ行動の必要」 ・PIMCOのマカリ-氏「米金融当局、年内利上げの公算は低い」	107.33 107.76 106.56 106.95	165.93 166.98 165.67 166.31	寄付 安値 高値 終値
08/06/12 (木)	東京は前日同様、欧米筋のリバティからドル強含み。一方、仏経財相発言などからユーロは軟調。欧米は予想を上回る米経済指標に加え、FF連銀総裁の発言からドル続伸。一時108円台も。	・5月の豪失業率4.3%、雇用数19700人 ・リーマンブラザーズの経営陣交代 ・南アが政策金利を0.5%引き上げ ・5月の米小売売上高1.0%、4月の企業在庫0.5%	・仏経財相「G8終了後にECBの金利に関する見解が変わる可能性」 ・6月のECB月報「インフレリスクに警戒を高める」 ・FF連銀総裁「金利を上昇させる必要があることは明白」	106.85 108.08 106.81 107.97	166.28 166.68 165.65 166.68	寄付 安値 高値 終値
08/06/13 (金)	東京は白川総裁のト派発言などから円が冴えない。ただユーロはそれ以上に弱い。欧米はアイルランドショックを受けてユーロ売り先行。一方、シガン大指数の悪化からドルも弱含み。	・日銀が政策金利据え置き ・4月の鉱工業生産確報値 0.2% ・ベルギーのインバプが米ドワイザーを460億ドルで買収提案 ・5月の米消費者物価0.6%、6月のシガン大消費者信頼感指数56.7	・仏経財相「最近のドル高は満足」 ・日銀総裁「景気下ぶれと物価上昇の両面リスクを踏まえ金融政策を運営」 ・アイルランドのリスボン条約批准に関する国民投票が否決される	107.90 108.43 107.65 108.18	166.67 166.82 165.65 166.40	寄付 安値 高値 終値

* ご質問などはEメールにてお願い致します。アドレス info@fx-newsletter.com まで